

令和4年 株式会社内田洋行 年頭ご挨拶

株式会社内田洋行
代表取締役社長 大久保 昇

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

内田洋行グループは、ICT と環境構築で「働き方変革」「学び方変革」「場と街づくり変革」の社会課題解決を進めており、昨年 2021 年に創業 111 周年を迎えました。その記念すべき年の決算として、2021 年 7 月期は売上高 2910 億円、経常利益 110 億円となり、2 年連続の最高益を更新することができました。同時に周年事業として、日本及びアジアに向けて、日本の文化や教育への貢献ならびに未来の教育のための国際教育支援を行うことができました。

また昨年 9 月には、内田洋行グループ第 16 次中期経営計画(2022 年 7 月期～2024 年 7 月期)を公表いたしました。これからの日本社会は、2025 年以降に加速する労働人口の急速な減少から、生産性向上に社会全体のスマート化が必須となります。推進役としてデジタル庁が創設され、民間企業も DX(デジタルトランスフォーメーション)投資が加速し始めています。文部科学省「GIGA スクール構想」が一気に前倒しされ、児童生徒 1 人 1 台端末、高速大容量通信環境での授業が始まりました。「答えのない未来」を生きる子どもたちには、この少子化社会の中で、従来の考えにとらわれず、自ら主体的に考え、自ら学ぶ術を持つことが必須となります。

内田洋行グループは、将来のデジタル社会の担い手である「人」と、その人がもたらす「データ」を重要と捉えます。日本と世界のサステナビリティにどう貢献するかが問われるなかで、「人」と「データ」へ取り組みの強化を進めることがこれからの成長機会であり、内田洋行グループの SDGs としてまいります。

112 年の歴史で培った多様なお客さまとのお取引関係と、「民間」「公共」の市場、ICT と環境構築ビジネスのユニークな事業構造の強みをさらに進化させ、今後想定される社会・産業構造の変化にともなう新たな社会ニーズに向けて、従来事業の枠から脱却したグループ経営を図って参ります。

“Hybrid & Flexible, Go ahead for the future!”

本年も、宜しく願い申し上げます。

以上